

2023年度 特別重点研究助成実施状況報告書

2024年 3月 25日

学長殿

研究	国際中国学研究センター (ICCS)・所長
代表者	李 春利

研究課題	エズラ・ヴォーゲル東アジア地域研究の継承と検証
------	-------------------------

研究の中心となる 研究所	国際中国学研究センター (ICCS)
-----------------	--------------------

研究実施状況の概要

研究成果の公表、学内・学外機関による評価の実施、外部資金獲得への取り組み状況等についても記述してください。

第1回エズラ・ヴォーゲル記念フォーラムを2023年7月1日(土)に愛知大学名古屋キャンパスグローバルコンベンションホールにて以下の内容で開催した。会場参加者216名、オンライン参加者153名。講演内容については動画編集集中であり、ICCS 現代中国学ジャーナルにも特集として講演記録を掲載する予定で進めている。また、中日新聞には3回関連の報道記事が掲載された(2023年5月25日、7月7日、2024年1月19日)。

また、前日の6月30日(金)には数名の登壇者が愛知大学豊橋キャンパスの図書館霞山文庫と東亜同文書院記念センターを訪問し、藤田佳久本学名誉教授、塩山正純図書館長、石田卓生記念センター研究員たちとの座談会を開催した。

第1回エズラ・ヴォーゲル記念フォーラム プログラム

第一部 開会式と記念講演 (13:00~14:20)

開会の挨拶 川井伸一 (愛知大学理事長・学長)

趣旨説明 李春利 (愛知大学国際中国研究センター所長・大学院長)

ヴォーゲル夫人のビデオメッセージとエズラ・ヴォーゲル博士の映像上映

記念講演: クリスティーナ・L. デイビス (ハーバード大学日米関係プログラム所長・ICCS 顧問)

演題: 「エズラ・ヴォーゲル博士の回想—アジア研究の継承と発展—」

第二部 パネルディスカッション (国際研究機構との合同プログラム) (14:20~17:00)

テーマ: 「アジア研究の過去・現在・未来」

パネリスト: クリスティーナ・L. デイビス (ハーバード大学日米関係プログラム所長)

ジェームズ・ロブソン (ハーバード大学アジアセンター所長)

リチャード・ダイク (ハーバード大学アジアセンター顧問)

今井耕介 (ハーバード大学教授)

趙全勝 (アメリカン大学教授)

益尾知佐子 (九州大学教授)

共同モデレーター: 李春利/佐藤元彦 (愛知大学国際研究機構長)

- ・国際研究機構研究フォーラムの内容とパネリストの紹介 佐藤元彦
- ・冒頭発言: クリスティーナ・L. デイビス/ジェームズ・ロブソン/リチャード・ダイク/今井耕介/趙全勝/益尾知佐子
- ・一般討論&質疑応答
- ・総括 李春利/佐藤元彦
- ・全体講評・閉会の挨拶 鈴木孝昌 (中日新聞社取締役)

【参加無料・日英同時通訳あり】

主催：愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）

共催：中日新聞社 ハーバード大学日米関係プログラム ハーバード大学アジアセンター

後援：愛知大学教育研究支援財団 愛知大学同窓会